

令和4年度

小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (10:30~11:30)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	職員 6 名
--------------------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	15	1	0	18

前回の改善計画	家族や本人からの支援の要望については、アセスメントを通して本当に必要な支援・ご本人の出来る、出来ないを把握し、計画書に落とし込んでいくように、職員全員でその目を持って対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画書を回覧に回し職員に出来る出来ないの視点を持ってもらうように取り組みました。今後も継続して実施していきます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	15	1	0	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	16	0	0	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	12	1	0	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	13	1	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	<p>情報提供書などを通し情報共有をされており、分からないことがあれば確認し合うことが出来ている 情報共有に目を通し、必要な個別に質問し理解している 申し送り、ミーティング、申し送りノートを通じ情報共有を行っている 本人・家族・介護者の要望をアセスメント記録より把握し書面では分かりにくい時はケアマネ、看護師に直接説明聞くように心がけている 管理者から事前に提出される個人情報に必ず目を通して。理解しにくい所は質問している ミーティングにはあまり出席できていないが、ケアプランはしっかり把握するように努めている 本人のニーズ、情報を共有出来ている</p> <p>② 家族の話聞き、支援を考えることが出来ている コミュニケーションを大切に、会話の中で思いをくみ取る様心がける事によってサービスに繋げる 介護者については支援出来ていると思う</p> <p>③ 全く同じサービスを使った事ない方へは訪問し、関係作りを行った 必要以上に積極的にせず、表情を見ながら声掛けをする 何気ない会話から利用者の情報聞き出し環境に慣れてもらうように努めている こまめに注意を払い、孤立しないように声をかけたり周囲の方とも話しやすい話題作り等に気をつけながらも本人を尊重しながら対応する 利用者にゆっくり話すように心がける 声かけ、話を聞くようにしている</p> <p>④ 送迎時は家での不安等、声掛けをし、話しやすい環境作りをする 不安を受け取りサービスを増やしたりしている 家族の方の様子に話を聞いたりする</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	<p>ミーティングに間に合わない事も多々あり紙情報になってしまう事がある プラン作成がずれ込んでしまう時に、情報が不十分なことがあった 家庭の事情によりミーティングに参加できない事がある。子供が小さく、夫の夜勤勤務が多い為</p> <p>③ 自分の仕事が忙しい時に声掛けが出来ない時がある</p> <p>④ 家族が遠方の時は事務所のケアマネが対応するので現場の関係づくりが帰省されているか来所された時には顔を見るくらいになっている。事務所のケアマネが対応され話をされて情報を得られるが、現場に大まかな事は伝わるが、細かい内容は情報として伝わらないことが多い。遠方の家族が帰省される間はヘルパーも減り、会うことが出来ない 利用者本人を支えるために家族、介護者の不安を受け止め、関係作りのための配慮が出来ていない 利用者の思いに添えられず、言葉づかひがよくなってしまい不安になってしまう時がある</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアマネや管理者がなかなか細かい内容までを周知できていなかった為、担当者会議には可能な限りそれぞれの利用者の担当職員も参加し、家族や関係者の声を聞く機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (10:30~11:30)
------------------	-----	------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	職員 6 名
------------------------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	15	1	0	18

前回の改善計画	利用者の目標を忘れがちになるため目標シートを作成し、職員が意識しながらケアにあたる。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	サービス評価を集めるまでに目標シートを作成することが出来ていません。職員が読む連絡ノートに記入するようにして代替対応を行いました。
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	16	2	0	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	15	2	0	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	12	6	0	18
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	13	4	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	デイサービス、ヘルパー業務という所だけを考えず、その人自身の支援を考える事が出来るようになってきた担当者会議の記録などを確認し目標を把握するようにしている。ミーティングで再認識している
②	夜勤が多い明けの2時間くらいで「～したい事」「出来る事」を一緒に進めるように努めているケアマネが作成する短期・長期目標の書類に目を通して、ミーティングの資料にも目を通して本人と話をしながらしたい事をしてもらうように促す
③	体調に応じ、利用者本人のやりたいことに対応しているケアプランに沿った内容を活かしつつ、本人との会話や表情等から本人の「～したい」を探し実際にやってみて反応を見ながら対応する
④	ミーティングで情報交換が出来ている日々の体調の変化は上司、ケアマネに都度報告出来ている。職員にも伝達できるようにしている業務の時間でのかかわりを朝礼で報告している。日々の業務に追われかかわりを持つことが少ない時がある。日々の関りの中で体調確認、話題などを聞くようにしている。日々の関りの中で様子を報告する。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	利用者様全員となると関りを持つ事が難しい事もあり把握出来ていない新規利用者様は情報のみで関りが難しい事がある。利用者様の「～したい」が分からない時がある
②	「何もない」と言われる方の「～したい」を引き出す力がついていないアセスメントやモニタリング以外でしっかり話をする時間が出来ていない本人の「～したい」が分かっても体調面や家族の協力(金銭面など)を考えると出来ないことがある
③	利用者様の身体状況が変わるのが早く、目標達成が難しくなる時があるヘルパーで訪問に出る日はホールにいる利用者様との関りを持つことが難しい。利用者様で同じ対応を取ってしまう時がある。「～したい」が言える人はいいが分からない人は今までと同じことをしているのではないかと
④	自分自身では少しずつ出来るようになってきたが、それを職員に広げられていない。どうやって伝えればいいかと悩んでいるミーティングには参加する機会が少ないが、ケアマネ・介護職員・看護師と話すようにしている実践した内容をミーティングで発言が出来ていない。ミーティングが当日出勤者だけになり参加できない事が多くなっている日々の業務に追われている現状があり、業務的に気持ちに余裕が持ちにくい状況になっている

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
アセスメント、モニタリングへの職員の参加を増やすことで、「～したい」の目標やそれに基づいたプランの再確認になる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月 1日 (10:30~11:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5	9	2	1	17

前回の改善計画	利用者の新たな発見があった場合には記入シートに書き込み、ミーティングや朝礼にて情報共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス評価を作成するまでに記入シートを作成することが出来ませんでした。連絡ノートに記載し情報共有を行うようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	7	10	0	18
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	10	1	0	18
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	13	1	1	18
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	12	0	0	18
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	12	2	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 情報提供や職員間のやりとりで以前の暮らしの理解をしている 町外の方が増えてきているためケアマネの情報を確認するようにしている。日々の体調、様子を伺って、その時に必要な介護が出来るようになってきた。その日の体調やADLに変化のある利用者様への観察を行い実践している。利用者様の体調、表情、言動に注意して関わっている。状況に対応して支援の方法を考え行っている。利用者様の状況に合わせた支援が行えた。都度ノートや申し送りの中で共有している。入浴介助をする事が無いが、着脱などを手伝うようにして話をしながら身体状態の確認をしている。本人に合った食事形態、体調の変化に気づいた時には都度報告している	
② コミュニケーションを取りながらチームで話し合うことが出来る。ミーティングだけではなく気が付いた時に職員と話をするようにしている	
③ 気づいたときにはすぐに対応するようにしており、家族に相談、医療に連絡するようにしている。気づきがあった時、当日出勤者、看護師、リーダー、管理者へ情報共有している。夜勤で体調の変化が発生した時はその時報告している。朝礼でも再度報告している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 情報伝達が管理者からケアマネ、リーダーまでで止まっている時があり、職員に伝えきれていなかった。記入シートを作成できず、新しく得た情報の周知が出来なかった時がある。10個の把握が出来ていない。コミュニケーションを取れていない。訪問時などでは個々に話をすることが出来るが、通いでは個々での会話が少なくなってしまい把握が難しい。個人情報もあり深いところは聞きにくい。家族様がおられる所も聞きにくい場合がある。自宅での生活が見えない時がある。利用者様本人との会話では10個を把握する事が難しい新規利用の方は10個の把握がすぐには難しい	
② 入浴に関わっていない	
③ ミーティングに参加が少なく、レジュメはもらっているが、内容を確認しきれていなかった	
④ ノートに記載できていない事もあり情報を知らない事があった。すべての共有が難しい時がある	
⑤ 即時的な対応を行っているが、大きく対応の変化を行っていない。それを長期的に行っていくかは様子を確認してからが良いと考えるため。利用者様本人の気持ちや体調の変化に気づくことがあるが、その情報共有、支援への取入れが出来ていない積極的な支援が行えていない時がある。利用者様のやる気を引き出す支援不足、生活の緊急性等への職員の把握に差がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者本人の以前の暮らしに関しては、利用開始すぐにはまだ関係性も出来ておらず利用者から引き出すことは難しく、時間をかけて日々のサービスの中でのコミュニケーション力にて引き出されることから、得た情報をノートに記入して情報共有したりケアマネに伝える等して、新しいその方の情報を得る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (10:30~11:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	4	2	18

前回の改善計画	利用者に関わってこられた方や民生委員の方等に、ほほえみの利用が開始、継続していても変わらずに支援や協力をお願いし、地域との関りが途切れないようにサービスを続ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	関りのあった方にはほほえみ利用中でも連絡を続け関係が途切れないようにしました。地域の行事などにも積極的に参加しました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	15	1	1	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	15	2	1	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	11	1	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	8	8	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	<p>状況や本人とのコミュニケーションの中で理解している 今までの生活スタイル、人間関係は理解している。しかし、日々の中で少しずつ変化している様子は りかいしきれていない ケアプランなどを参照し、情報収集に努めている 作成された情報などを元に家族構成を理解し、管理者・ケアマネ・リーダーからの話を元に介護に取り組んでいる 会話などで聞いた話があれば報告している。利用者様の利用日は理解している</p> <p>② 地域の民生委員の方と連絡できている 地域の行事に参加できるよう予定をいれ同行する 送迎時やヘルパー時に家族様に様子を聞いたり地域の人に会った時に挨拶している。会話の中で地域の行事を聞 くようにしている ヘルパー時などに会った方々に本人様の支援や協力への感謝と今後の継続をお願いしている</p> <p>③ 家族や地域の方に送迎時声を掛けられることがある。日頃より挨拶など声掛けをしている</p> <p>④ 利用者様に関係ある人の把握を行っている。 必要な方への情報提供は利用者様の為になることは都度伝えている 地域の文化祭など行事に参加できている</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	現在の状況は把握できているが、それ以前の生活スタイルの把握が出来ていない
②	<p>民生委員や自治会長の方と関係のある人が長期利用になったときにうまく連絡できていない。 本来なら利用者様に変化があった時を考え、定期的に連絡を取るべきだと思うが、どうしても連絡が 後手に回ってしまう。連絡する人数のバランスもある 遠方に住んでいる家族がコロナの影響もあり帰省が減っており、日々の生活状況を伝えられない</p> <p>③ 地域の方等から様子を聞けるときもあるが、多くの方の把握は出来ていないと思う。 過疎化や周囲との関係が薄いという現代の情勢の影響もあると考える。その中で気にかけてくれる人も いるため、そういった支援を大切にしたい 家族が同居している利用者様は家族に話を聞くことができるが、独居の方は認知症状もあり何をしてたか覚えて いない事も多く把握が難しい ヘルパーに行くことが少ない為把握しにくい。訪問に行った職員で出来るだけ聞くようにしている</p>

家族と同居でも関係が難しい家族には話を聞きにくい
把握しようとしているが全員の把握が難しい。また、思いもよらない行動をする利用者様もいるため
把握しきれない

- ④ 地域資源をすべて把握していない。コロナの影響もあり地域との交流機会が減っている
直接民生委員と会う機会がほとんどない。地域の資源を活用しているが把握しきれない所があるので、目に見
える形で周知が出来るといい
利用者様の住んでいる地域が広がってきており、民生委員の把握が難しい

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

今まで使っておられた地域資源を利用開始時のアセスメントで把握し、つながりが途切れないようにする。関りがある方についてはご本人や家族の了解を得て、担当者会議に参加していただき、担当職員も関りが持てるようにする。

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (10:30~11:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	3	4	18

前回の改善計画	地域資源が何か、個人ごとに資源が豊富な人もいれば、無いに等しい方もおられる。記入用アセスメントシートに些細なことでもわかったことを記入していく
前回の改善計画に対する取組み結果	記入用アセスメントシートを作成することが出来ませんでした。職員の連絡ノートに記載して周知を行いました

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	13	4	0	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	14	2	0	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	14	0	0	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	13	1	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者様の自宅近くにハチの巣が出来た時など地域の人に相談し、解決する事が出来た。一緒に買い物に出かけるなど地域資源を活用している。管理者、ケアマネが作成する書類をもとに地域資源を理解するようにしている。地域のイベントに人数は少ないが参加できている。必要となる時は家族への報告、本人の気持ちを尊重して提供を行えている。デイサービスに合わせた利用、泊り、緊急時の利用に対応できている
②	体調に関して主治医への相談、報告、家族への報告を行っている。利用者様の変化に気づいた時は朝礼やミーティングで共有している
③	体調や気持ちの不安定な時にサービス内容を検討し実行できる。無理はせず、1人1人に合った生活、ADL、休養などその時に応じて行うことが出来る。出来る限り本人の希望に合わせて支援している。買い物支援やホール内での手伝いも行っている。ほほえみ内での様子、自宅との様子、家族との関係などその時に合わせて支援している。会話をすることで変化が分かるようにする為、記録の記入、報告を行っている。家族の希望に合わせた対応を行っている。

できていない点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	地域資源を使いきれていない 地域資源という考えを広げられていない。地域資源について学ぶ機会を作れると良い。自分自身の経験不足もあり、どこへのタイミングで相談すればよいか迷う時がある。地域資源を利用した支援がどのようなものか分からない
②	介護度が低いわりに利用回数が多く定員がいっぱいになった時はいれない方がいる。家族の希望が多く利用が重なり利用できない場合がある
③	勤務の関係でミーティングに参加できない 全ての情報を周知するのは難しいかもしれないが情報共有するのに口頭だけでやりとりするのは控えて欲しい。些細なことでも記録に残して欲しい
④	利用についてももっともっと柔軟な対応を考える事が出来るようになるといい その日の利用者様の状態、ニーズに合わせた支援が出来ていない。気づくのが後になってしまう 職員同士での利用者様のニーズに合った対応、支援、情報共有が出来ていないことがある。ニーズを把握しようと思わないで介護している

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源についての学びの場をミーティング時に行う。利用者により地域資源の利用に差があるが、まだまだ知らない資源があるかもしれない。職員が地域資源について学ぶことで、新たに見つけられるかもしれないので、そういう視点をもってサービスに取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (10:30~11:30)
------------------	-----	------------------------

6. 連携・協働	メンバー	職員 6 名
----------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	4	11	3	0	18

前回の改善計画	感染症の情報を把握しながら、その時に出来る事を実践していく。利用者や家族の満足度を高める
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	職員がコロナに感染、濃厚接触者になることがありましたが、その中で出来る事を行っていきました。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況趣旨

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	8	3	6	18
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	4	10	18
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	7	3	5	18
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	15	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 必要時参加出来ている	
②	
③ 行事やイベントの情報が入れざるべくその地域の利用者様が行けるようにしている。地元の方には地域のイベントに参加できるように協力している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 医療機関との会議は行えているが、福祉用具、他事業所との会議に参加することなく報告のみで分かりにくい。情報も少ない	
② 市立病院主催のオンライン研修は参加している	
会議への参加機会を作ることが出来なかった	
コロナウイルス感染症の影響で会議自体も減少している	
③ 外出の機会は増えているが、利用者様の重度化の影響もあり限られた利用者様しか外出できていない	
利用者様の全体像が把握できていない時がある。情報が少ないと感じることがある	
④ あまり開放感が無い。	
コロナウイルス感染症の影響もあり参加が難しい	
今後、会議には現場で頑張ってくださっている介護職員、看護職員も参加できるようになるといい	
立地的に人が良く通る場所ではなく気軽に立ち寄れない。施設でイベントを行い地域住民が参加できればいい。見学会などもあれば知る機会があつて良いのではないのか	
施設見学者はあるが直接かわる機会が無い	
地域の住民へのアピールも少ないのではないのか	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍ではあるが、可能な範囲で利用者の地域の催しものには参加してみる。サービス担当者会議に担当職員も参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (14:30~15:30)
------------------	-----	------------------------

7. 運営	メンバー	職員 8 名
-------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	4	9	2	3	18

前回の改善計画	毎月のミーティング時には職員からの意見を聞く時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングで小規模計画の見直し時、利用者様の情報交換時に意見を聞く時間が作れました。今後も継続していきます

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	12	3	1	18
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	15	1	0	18
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	13	3	1	18
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	12	4	2	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ミーティング時に意見を聞く時間を作れた 上司に意見を伝えやすい環境にあるため伝えるべきことは伝えている 改善出来そうなことは上司に伝えている より良き事業所となるよう日々意見が言い合える環境だと思う。自身も発言させてもらっている ミーティングが毎月、実施されている。意見交換もされて運営に反映されていると思う 他の職員がどう関わっているかを確認している
②	利用者様から聞いた話や送迎時などに家族と話していた事で話したことを伝えるようにしている。 話を聞いたらすぐに上司に報告し、対応を行っている 直接聞く機会はないが、職員間での話を聞き対応している
③	朝礼などで話を聞いている
④	コロナウイルス感染症の影響で機会は減っているが、行っている 積極的に動いていないが、徐々に文化祭など取組みを行っている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	支援内容に関しどうしてもその時の介護者の視点、考え方が入ってしまい、そういった点に関し意見を伝えるのが 難しい時があった 職員として意見をあまり言うことが出来ていない。事業所のあり方について意見を言う機会が無い ミーティングに参加できていない事もありなかなか上司と話す機会が少ない
②	利用者様、家族様の気持ちが分からない時があり意見が言えない事がある
③	
④	コロナウイルス感染症の影響もあり地域との取り組みが行いにくかった。取り組みが出来ない事もあり意見を聞く機会が無かった コロナウイルス感染所の影響で外出する事が大きく減った。少しずつ作品展などに参加できることがあった

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、ミーティングでは職員の意見を出しやすい会議とする。 地域の方も巻き込んだ防災訓練を行うなど、積極的に地域の方との関係作りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (14:30~15:30)
------------------	-----	------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	職員 8 名
-----------------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	2	8	7	1	18

前回の改善計画	リスクマネジメントについて、繰り返しの研修を行い常に意識した行動や環境整備に取り組む
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクマネジメントに関する研修を実施出来ていませんでした。年度内に開催できるように取り組みます

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	9	6	1	18
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	6	8	18
③ 地域連絡会に参加していますか	0	5	2	11	18
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	15	1	0	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ミーティングに合わせて行うことが出来ている 事業所内の研修に参加できている 研修資料に目を通し学んでいる 職場外の地域の研修に参加できた
②	資格取得のために専門学校に通い、修了することが出来た。 今年度にケアマネ更新を受講予定 事業所の上司や職員が参加した研修などの話を聞いている
③	
④	全ての事に対して取り組めていないが、ある程度のリスクマネジメントの対応が出来た その都度話し合いがあり、情報を周知している リスクマネジメントは常に意識している 事業所にあるマニュアルを再度確認することに事故を減らしていけると感じている 危険発生原因を予測しながら介助を行っている。危険になる原因を職員間で話し合っ解決案を考えている ヒヤリハット報告を見て以後同じ事が起きないように自分に置きかえて注意している

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	研修が行われる機会が少なく、研修に参加できていない 体調の事もあり参加できていないが書面を読むようにしている
②	コロナウイルス感染症のため機会が無い コロナの事もありますが研修に参加したいと思っているが、会社から機会が無い、行かせてもらえるか分からない 今ほどのような研修があるか、自分に必要な研修が何なのか全くわからない
③	地域連絡会の情報が無い コロナウイルス感染症のため機会が減り研修に参加する事が無かった コロナウイルス感染症の影響で研修の機会が減っているが参加できれば参加したい
④	リスクマネジメントに取り組んでいるが利用者様の見守り不十分や職員同士の連携が不十分な時がある

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>少しずつ研修も行われるようになり、リモート研修も増えてきました。各職員の研修計画に沿った研修案内を行い、参加してもらいます。</p> <p>資格取得に向け、法人としてバックアップがあるものに関しては研修委員が中心となり、情報を提供する。</p> <p>リスクマネジメントに関して、ヒヤリハット報告の段階で事故につなげないようにその都度、対策を行い、周知する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月1日 (14:30~15:30)
------------------	-----	------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	職員 8 名
--------------	------	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	0	12	4	2	18

前回の改善計画	スピーチロックについて、毎回のミーティング時に確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング時に毎回確認は出来ませんでしたが、定期的にミーティングで確認を行いました。今後も引き続き確認を行っていきます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	15	3	0	0	18
② 虐待は行われていない	15	3	0	0	18
③ プライバシーが守られている	7	9	2	0	18
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	4	7	3	4	18
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	12	1	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 身体拘束を行う事なくサービスを提供できている 特養で繰り返し研修が行われたことにより自分の言動を振り返り考えている 利用者様がどうしたいのか傾聴するようにしている	
② スピーチロックに気を付けている 虐待を行う事なくサービスを提供できている 自分自身がされて嫌なことはなるべくしないようにしている 利用者の立場になって苦痛を取り除けるように職員同士で行動などに気を付けている	
③ プライバシーを守ってサービスを提供できている トイレ時のノック、入浴時のカーテン、タオルなど気を付けている 利用者様と個人的な話をするとき他の人に聞こえないように小声で伝えるようにしている	
④ 事業所として制度を有効に活用できている	
⑤ 個人情報の管理が出来ている 職員や利用者様の情報は他の利用者様に話さないように気を付けている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	
② 夜間業務で2人、3人立たれたりした時に「ちょっと待ってね」と言ってしまう場合がある。 転倒リスクのある利用者様が動いた時に「ちょっと待って」と言ってしまう時がある 職員お気持ちがばらばらで共通する介護が出来ない	
③ 夜間業務で1人で対応しないといけない時はプライバシーより安全確認を優先する場合がある。1人の利用者様がトイレに行った時は、 トイレのドアを少し開けて他の利用者様の様子を確認する時がある。 利用者様の前で他の利用者様の事を話している事がある。声掛けしたいが、業務中で声が掛けにくい時がある	
④ まだ活用するに至っていない利用者様がいる 必要と思われる方はいるが話が出来ていない。本人の同意を得ることが出来ていない 成年後見制度に直接かかわっていないので活用されているのかも分からない	

成年後見制度の情報について知る機会が欲しいが、聞いたとしても分からないかもしれない

- ⑤ 利用者様のファイル他の書類が置いてあることがある。利用者様の近くで見守りをしながら記録を書く事があるため。利用者様が目にする事が多くあると思う

記録を書いている途中で利用者様の対応の為離れてしまい、記録がそのまま置いてあることがある。

スピーチロックを行わないためにコミュニケーション能力を高める事も大切だと感じる

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

成年後見についての職員研修会を行う。

スピーチロックについては引き続きミーティング時に意識づけを行う。

プライバシー保護について、日頃何となくやっけてしまっていることを気づいたら報告し、ほほえみ独自の一覧表を作成し、職員間で共有する。